

研究紀要第5号の発刊にあたって

明海大学副学長・外国語学部長
教職課程センター長

高野敬三

ここに明海大学教職課程センター（METTS）2021年度「研究紀要」第5号をお届けする。

2021年度も主株が新型コロナウイルスがデルタ株からオミクロン株に変わったもののその脅威は減少しなかった一年であった。ただワクチン接種も3回目が始まるなど With COVID-19への真の覚悟が生まれた一年でもあった。

METTSは、いつもに変わりなくアゴラ（古代ギリシアの時代、哲人たちが英知を育むために集った広場）となっている。コロナウイルスによって思い描いた活動は十全にはできていない。それはMETTS（MEikai Teacher Training Support）だけではなくここに集う学生たちにも言えるが、与えられた小さなチャンスを最大限に生かす気概を忘れずに2021年度が経過していた。

今号では、研究論文2編、教育実践報告3編を収録することができた。この教職課程センター「研究紀要」第5号を発刊することで、METTSが教員養成機関としてだけでなく、教育研究機関としての取組をご覧いただけることを衷心より感謝する。

これまでMETTSの教育活動にご協力いただいた東京都教育委員会、足立区教育委員会、浦安市教育委員会をはじめとして連携区市町村教育委員会、高等学校、小中学校の先生方には厚く感謝申し上げます。

教職の明海、そのように言われる一步手前まで辿り着いた。大学規模を考えれば他大学には負けない自負がある。この矜持はこれからも持っていたい。私どもは、今後も各地域との連携を図りながら教員養成の適切な在り方を精力的に研究・実践していく所存である。その中で多くの方々からご意見を頂戴できれば幸いである。